1.	概要	2
	1-1. オブジェクト概要	2
	1-2. 倍率で指定	2
	1-3. 領域に合わせる	3
	1-4. 表示位置	4
	1-5. イメージ間隔	4
	1-6. 対応画像フォーマット	5
	1-6-1. Cast/Print/PrintStage/Expageの対応画像フォーマット	5
	1-6-2. Screenの対応画像フォーマット	5
2.	固定イメージオブジェクト	6
3.	イメージ変数オブジェクト	8
	3-1. 入力データ	8

1. 概要

1-1. オブジェクト概要

Create!Form では画像ファイルを参照して帳票上に固定もしくは動的に画像データを描画する ことができます。 画像描画のためのオブジェクトとしては以下のものが用意されています。

・固定イメージオブジェクト

・イメージ変数オブジェクト

オブジェクトのプロパティ画面で画像の描画方法や配置を指定することができます。

|--|

イメージ変数	×
わジェか番号: 001 記述: VImage	
変数名: IMAGE000	
表示 重ね合わせ 位置 表連携 透かし	☑ 小数点一桁
サイズ: 〇 倍率で指定	
X: 1.000 Y: 1.000 X	
(● 領域に合わせる ▼ 縦横比を固定	
表示位置: 左上 👤 イメージ間隔: 0.000 🖯	
適用OK	キャンセル

1-2. 倍率で指定

画像の表示サイズを倍率を指定して出力できます。X 倍率:Y 倍率 共に "1.000" に設定すると 元々の画像サイズで表示できます。(初期設定)

[縦横比を固定]した場合は、X倍率のみの設定となり、元画像の縦と横の比率を保ったまま 画像サイズを拡大・縮小します。 1-3. 領域に合わせる

Form エディタ上で定義した固定イメージ・イメージ変数の定義領域の幅・高さを基準に画像 サイズを拡大・縮小します。 各設定による出力は次の図のようになります。

<u>図:[領域に合わせる]</u>

実寸



設定:イメージ変数、領域にあわせる

縦横比を固定した拡大







:定義領域を示す

縦横比を固定した拡大



縦横比を固定しない拡大



1-4. 表示位置

Formエディタ上で定義した固定イメージ・イメージ変数の定義領域のどこを基準に画像を表 示するかを選択します。

設定は、[左上][左下][右上][右下][中央]となります。

1-5. イメージ間隔

イメージ変数では、1つのイメージ変数に対して、複数行の画像ファイル名をマッピングする ことにより、製品カタログなど、連続して画像を切り替えて表示していく表現が可能となりま す。

この際、1つ1つの画像の送り(行送り)はイメージ変数の定義領域のサイズが基準となって います。これに対し、イメージ間隔を指定することにより、次の画像の出力位置をずらすこと が可能です。

図:イメージ間隔



| イメージ間隔





1-6. 対応画像フォーマット

イメージ・イメージ変数で出力可能な画像ファイルフォーマットは、以下のとおりです。

1-6-1. Cast/Print/PrintStage/Expage の対応画像フォーマット

 BMP ファイル 色数: 1ビット モノクロ 8 ビット 256 色 RGB インデックスカラー 24 ビット RGB フルカラー 圧縮: 非圧縮 ・TIFF ファイル 色数: 1ビット モノクロ 4 ビット 16 色 RGB インデックスカラー、グレースケール 8ビット 256 色 RGB インデックスカラー、グレースケール 24 ビット RGB フルカラー 32 ビット CMYK フルカラー E縮: 非圧縮、FAX G3、FAX G4、PackBits、LZW ※ 32 ビット CMYK フルカラーは、非圧縮と LZW のみ対応しています。 ・JPEG ファイル 色数: 24 ビット RGB フルカラー 32 ビット CMYK フルカラー 符号化方式: ベースライン、プログレッシブ ・EPS ファイル (Print ランタイムのみ) Adobe Illustrator バージョン7以上 〈〈注意〉〉 PDF/X-1aを設定している場合、出力可能なフォーマットは以下の通りです。 ・TIFF ファイル 色数: 32 ビット CMYK フルカラー 圧縮: 非圧縮、LZW ・JPEG ファイル 色数: 32 ビット CMYK フルカラー 符号化方式: ベースライン、プログレッシブ

1-6-2. Screen の対応画像フォーマット

閲覧するブラウザーで表示可能な画像です。

2. 固定イメージオブジェクト

固定イメージオブジェクトは、固定の画像を帳票上に描画するオブジェクトです。 固定イメージオブジェクトを帳票上に配置すると、全てのページに固定イメージオブジェクト が出力されます。

Form エディタ画面上で固定イメージオブジェクトを帳票上に定義する場合は、オブジェクト ツールバーにある[イメージ]アイコンをクリックし、帳票領域上にドラッグ&ドロップして 配置します。

図:[イメージ]アイコン

4 4 4	Aa	+		0	⊞		1 2	រាធ្	6
	テキスト	直線	四角形	楕円	罫線	ハ' ーコート'	イメージ	サブ・フォーム	PDF

図:固定イメージオブジェクト



表示する画像はプロパティ画面の[属性]タブの[イメージファイル名]欄で指定します。

义	:	プ	D /	<u>۰</u>	7	1
---	---	---	------------	----------	---	---

1メージ	×
オフジェ 小番号: 001 記述: Image	
届性 表示 重ね合わせ 位置 表連携 透かし イメーシファイル名: DUMMY 参照…	▶ 小数点一桁
適用 OK	キャンセル

[参照]ボタンをクリックして画像ファイルを選択してください。画像ファイルは以下のフォ ルダに配置する必要があります。

・ランタイムが Cast/Print/PrintStage/Expage の場合
 Form ファイルと同じフォルダに配置します。

 ・ランタイムが Screen の場合 イメージ URL に指定したパスの直下に配置されている必要があります。イメージ URL につ いての詳細はオンラインマニュアルの [3. 機能リファレンス] - [3.8 HTML 出力設定] [3. URL 設定] を参照してください。

<u>図:固定イメージオブジェクト</u>



3. イメージ変数オブジェクト

イメージ変数オブジェクトは、入力データから取得した画像ファイルのパスを元に可変的に画 像データを帳票上に描画するオブジェクトです。

Formエディタ画面上でイメージ変数オブジェクトを帳票上に定義する場合は、オブジェクト ツールバーにある[イメージ変数]アイコンをクリックし、帳票領域上にドラッグ&ドロップ して配置します。

図:[イメージ変数]アイコン

*	<u>ab</u>	#	<mark>۶</mark> 7	~	%	<u>.000</u>	<u>888</u>	1	lill,	8	₽
	テキストV	^' -ジ V	日付V	マークV	<u>ሀ</u> ンクV	₩ -⊐-F. A	2Dコ-ドV	イメージ V	ク ラフV	表	PDFV

図:イメージ変数オブジェクト

+			
-			
	I MAGEOO	<u>11</u>	

3-1. 入力データ

イメージ変数オブジェクトにマッピングする入力データについて説明します。

- ランタイムが Cast/Print/PrintStage/Expage の場合
 Cast/Print/PrintStage/Expage ランタイムでは、マッピングしたデータに画像ファイルのパスを記述します。絶対パス、もしくは実行時のカレントディレクトリからの相対パスで指定することが可能です。
- ランタイムが Screen の場合
 Screen ランタイムでは、マッピングしたデータに画像ファイルの URL を記述します。絶対パス、もしくは出力ファイルディレクトリからの相対パスで指定することが可能です。

Create!Form 11

画像 第2版

発行日 発行者 2018 年 1 月 インフォテック株式会社 〒 160-0023 東京都新宿区西新宿 7-5-25